



国語

国語の学習内容は、「言語事項」と「読解」の2種類に大きく分けられます。Aシリーズ～Cシリーズと少しずつ難しくなっていますが、受験校に関わらず、Cシリーズまでしっかり学習しましょう。実力アップが確実に図れます。

Aシリーズでは、小6までに学習する漢字を使用しています。B、Cシリーズは、実際の入試問題と同じように、中学で学習する漢字（常用漢字）も使用しています。言語事項は、国語の中で唯一、暗記による得点アップが可能です。確実にモノにできるよう、頑張ってください。

読解問題は、入試問題ほど長い文章を使用していません。丁寧に文章を読んで、正解の理由を文章中に探しながら、問題を解いていきましょう。

算数

Aシリーズ

まずは計算について、小学校の学習範囲を、できるだけ4年生のうちに、すべて終わらせてください。5年生になって受験することを決めた、ということなら頑張って早めに分数の計算までできるようにしましょう。表やグラフの使い方の基礎も、比較的手がしやすい範囲です。早い時期に取り組みましょう。

文章問題は、教科書で学習する範囲をこえて、いろいろな考え方を身に付けなければなりません。教科書範囲では、「速さ」の基本が大きなテーマです。はじめは難しく感じると思いますが、繰り返すうちに少しずつ慣れてきます。eトレのプリントは、1つの単元を小さなステップに分けて作ってあります。一つひとつの解き方のパターンを、着実に身に付けていきましょう。

図形の問題は、角度、面積、体積が中心で、基礎になるのは公式とその意味です。しっかりと理解してください。応用問題はパズルのような感覚で解いてみると、楽しく学習が進みます。展開図や対称な図形などは公式がないので、考え方が身に付けば、あとは練習だけです。

Bシリーズ

Bシリーズまでの学習で、中学受験の標準的な出題範囲の内容が身に付きます。

いよいよ「割合」の考え方が登場します。割合、百分率、歩合、比の考え方をはじめに身に付けてください。次に、割り引き、割り増し、比に分けるといった応用に取り組みます。文章題でも、割合の考え方を利用したものがたくさんありますので、Bシリーズではその解き方のパターンも理解していきます。

比例・反比例も登場します。比例や反比例のグラフを使った問題が直接出題されることは少ないですが、文章題を解くときに、比例や反比例の考え方をすることはとても多いです。それ以外の文章題でも、難しいものが増えてきます。

図形の問題では、角柱・円柱や角すい・円すいの体積が登場したり、拡大図・縮図から相似な図形の線分比・面積比の問題が

登場したりと、内容が本格化します。

グラフを使った問題も、難しくなってきます。「速さ」「比例」「グラフの読み取り」を組み合わせ上手に考えるのが、解法のポイントです。

Cシリーズ

Cシリーズでは、中上位～上位校を目指すために、応用レベルの高い問題や実践問題に挑戦します。Bシリーズまでの学習に苦勞している段階では、まだ取り組むのは避けた方がいいです。

とは言っても、入試が近づいてきてやるしかないということもあるでしょう。その場合には、同じ内容を扱っているBシリーズ単元を復習してから、すぐにCシリーズの問題に取り組んでください。